

# 北陸新幹線の早期完成・開業について

災害に強い国土づくりを進めるため、東京・大阪間を日本海側でつなぎ、複軸型の国土構造を実現する北陸新幹線を最優先に整備し、国土強靱化を加速すべきです。

北陸新幹線の早期整備は、閣議決定された「成長戦略」や「骨太の方針」に位置付けられており、敦賀開業の前倒しを速やかに図り、日本全体の元気な経済を実現しなければなりません。

開業前倒しにより北陸地域全体に等しく開業効果を早期に発現させることは、安倍政権が掲げる地方重視の政策の推進にもつながります。

このため、整備新幹線に係る政府・与党ワーキンググループにおいて、必要な財源確保策の検討を早急に進め、1日も早く整備スキームを見直し、次のことを実現されるよう要望します。

- 1 整備スキームを1日も早く見直し、敦賀までの完成・開業を3年早め、平成34年度の開業とすること。**
- 2 貸付料の新規着工区間の前倒し活用や算定期間の延長、JR九州株売却益の活用、公共事業費の拡充など幅広い観点から安定的な財源を確保すること。**